

事業所名 博愛こども発達支援センター たくみのお城II

## 支援プログラム

作成日

令和7年

3月

12日

法人（事業所）理念		2歳から100歳まで あたたく質の高い「在宅医療」と「社会参加への支援」の確立					
支援方針		「遊び込み療法の理論と実践」、「5つの構造化支援(人・音・時間・空間・言葉)」、「自由の構造化支援(構造化された枠組みの中で自由に遊ぶ)」に基づき、実践をします。 5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）を全て含めた総合的な支援を提供することを基本とし、小集団、大集団、個別での活動を提供します。					
営業時間		9時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	各学校への迎え有り・帰りの迎えは家族
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	看護師が日々の体調管理をし、各医療機関と連携し本人の状態把握に努め、健康の維持、増進を図ります。 医療的ケアが必要な児に対して的確に状態を判断し、最善の処置ができるように体制を整えています。 その他、保育士や児童指導員、作業療法士など様々な職種による訓練や生活支援を行います。					
	運動・感覚	日々の活動の中で、それぞれに合わせ、体を動かす粗大運動（ゲーム）や体の五感を刺激する感触遊びで身体機能の維持、向上を図ります。 また屋外散歩では四季に合わせ、自然の音や風、気温などを肌で感じてもらうように支援します。 音や感覚刺激を通して、自発的な反応を引き出したり興味、関心を増やすように支援します。					
	認知・行動	視覚や言語で提示し、本人の意思決定を通して次の行動に移ったり、制作をしてもらうよう支援していきます。					
	言語 コミュニケーション	様々な表情、動作や発声の仕方などで自分の気持ちを表現できるような環境を作ります。 物や様子を本人の目の前に提示し言葉で伝えることでその言葉の意味と結びつくように繰り返し伝えていきます。 絵カードを使用し意思表示を促す支援を行います。					
	人間関係 社会性	職員とたくさんふれあい、声かけをしていく事で信頼関係ができるように支援を行います。 お友達と一緒に過ごし、意識しながら楽しく安心して活動に参加できるように支援していきます。 安心して過ごせる居場所、環境作りを行います。					
家族支援		連絡帳や電話、お迎え時に家族の困り事や相談などは適材適所に必要な助言などを行います。			移行支援		生活介護への移行前には関係機関との情報共有を行います。
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関との連携を図っていきます。			職員の質の向上		重度心身障がい児の特性や適切な支援を理解するよう日々の業務から取り組んでいます。さらに理解を深めるために外部での研修にも積極的に参加しています。
主な行事等		4月：お花見 5月：こどもの日 6月：院内レク 7月：七夕 8月：夏祭り 10月：ハロウィン 11月：院内レク 12月：クリスマス会 1月：年始会 2月：節分 3月：院内レク 毎月の行事：お誕生日会、アート活動、音楽教室、避難訓練					